

道しるべ紀行

松原市域の街道と
道標(道しるべ)を巡って

松原市の歴史と文化に
触れてみませんか。



松原市域は、古代より交通の要衝でした。考古学上の調査で発見された飛鳥時代の難波大道をはじめ、竹内街道・長尾街道・住吉街道(斜向道)・中高野街道・下高野街道・古市街道といった古道が縦横に走っていました。人々は江戸時代に入って、これらの街道を利用し、寺社参詣や商いなどで行き交いました。今もこれらの街道は古い町並みを残しながら、生活通路として息をひそめています。

街道の要所には、移動させられていたものも多くなり、江戸時代には、江戸時代建立が17基、明治時代建立が2基(①・②)、昭和時代建立が1基(大阪市から移設③)の計20基が建てられています。

他に「ユニメント」として、平成時代の中高野街道道標1基(⑩)、説明台としての竹内街道モニュメントが2基(⑭⑮)あります。

江戸時代の道標のうち、敬念寺前元運分地藏像(⑫)は、もともとは高見町と新町地区の東代村の長尾街道と住吉街道の分岐する道分にあつたもので、「天和二年(一六八二年)」は大坂府内でも最古級の年号を持つ貴重なもので了。また、竹内街道と中高野街道の分岐する所に建てられた2基(④⑤)の「寛政九年(一七九七年)」は、堺市から葛城山に至る竹内街道で見つかった、56基の道標のうち、3番目にあつた。



道しるべ(道標)一覧

番号	名称	所在地	別名	形態	建立時期(年月)・建立者など
1	中高野街道内保4丁目 地藏像道標	内保4丁目	正面「右 八尾 信典山 左 平野 大坂」 右面「明治十五年九月建立」	角柱	明治15年(1882年)9月
2	長尾街道 ちちかみし道標	上田1丁目 松原駅前	正面「ちちかみし」 右面「長尾街道」 左面「長尾街道」 裏面「明治四十三年二月修繕 大坂府」	角柱	明治43年(1910年)2月 大坂府
3	中高野街道・住吉街道新堂3丁目道標	新堂3丁目	正面「左 さかい 住よし 道」 右面「右 平野 大坂 道」 左面「天保五年正月月建之 轉轉心」 裏面「すく かやよ しの 道」	尖頭形 角柱	天保5年(1834年)正月 轉轉心 元的位置は住吉街道北側
4	竹内街道・中高野街道茶屋道標	岡5丁目 松原南図書館前	正面「右 ひらの 大坂 道」 右面「左 さやま 三日市 かやう 道」 左面「左 さかい 道」 裏面「寛政九丁巳年五月 いせこう中」	楕円形 角柱	寛政9年(1797年)5月 いせこう中 元的位置は竹内街道南側
5	竹内街道・中高野街道分岐道標	岡4丁目	正面「左 ふちみち 上太子 やま 道」 右面「右 さやま (三日市) かやう」 左面「寛政九丁巳年五月 いせこう中」 裏面「左 ひらの 大坂 道」	角柱	寛政9年(1797年)5月 いせこう中
6	歳の上地藏尊道標	天美我堂7丁目 前正寺前地藏堂	正面「すく 志成山」 左面「右 さかい 道 地主 天美我堂村中 世話人 中長 松置 龜兵衛 川原 備安 惣七 弥元 高永元(享 七月月)」	地藏堂	嘉永元年(1848年)7月 東西我堂村中
7	藤原寺前地藏像道標	天美北5丁目	正面「右「右 ひらの」 正面左側「左 すみよし」	地藏像	江戸時代
8	下高野街道 天美東8丁目地藏像道標	天美東8丁目	正面「右 志成山八尾ひらの三宅村 左 大坂天王寺あま井」 左面「施主兼我村備安兵衛」 裏面「すく 高野山狭山道」	楕円形 角柱	江戸時代 我堂村備安兵衛
9	天美東8丁目児童公園内 地藏像道標	天美東8丁目 池内総合会館前	正面右側「右 天美寺 大坂」 正面左側「左 ならみち」	地藏像	江戸時代
10	天美東8丁目児童公園内 地藏像道標	天美東8丁目 池内総合会館前	正面右側「右 八尾平野街道」 正面左側「左 天王寺中の」	地藏像	江戸時代
11	敬念寺前地藏像道標	南新町1丁目	正面右側「尾置女 享保十三戊申 五月十三日」 正面左側「南無妙法蓮華 聖なる増し寺」	地藏像	享保13年(1728年)正月13日
12	敬念寺前元運分地藏像道標	高見の里3丁目	正面右側「右 はせ よしの」 正面左側「左 なら ふしでら」 正面下側「天和二年 七月十日」	地藏像	天和2年(1682年)7月10日 元的位置は長尾街道・住吉街道の道分
13	敬念寺前元運分地藏像道標	高見の里3丁目	正面右側「右 はせ よしの」 正面左側「左 ふしでら 寺 なら」	地藏像	江戸時代 元的位置は長尾街道・住吉街道の道分
14	三宅別荘内内地蔵像道標	三宅東3丁目 無縁墓内	正面右側「すく ならみち」 正面左側「左 八まんみち」	地藏像	江戸時代
15	三宅別荘内内地蔵像道標	三宅東3丁目 無縁墓内	正面右側「右 てんしん 左 はし備」 正面左側「すく 八まん宮 施主慈登正親」	地藏像	江戸時代 慈登正親
16	三宅別荘内内地蔵像道標	三宅東3丁目 無縁墓内	正面右側「右 はし備賢宗祝」 正面左側「左 そうしあみち」	地藏像	江戸時代 賢宗宗祝
17	長尾街道一津屋1丁目地藏像道標	一津屋1丁目	正面「右 平野大坂 左 さかい 道」 右側「すく ひらを」 左側「すく ふしでら寺なら」	楕円形 角柱	江戸時代
18	天美南6丁目地藏像道標	天美南6丁目	正面下側「左 八住吉天王寺 のみち」	地藏像	江戸時代
19	天美西2丁目地藏像道標	天美西2丁目 安楽寺西側民家内	正面右側「右 八 天王寺へ七十丁」 正面左側「左 天王寺住吉道」	地藏像	江戸時代 非公認
20	大坂市・熊野街道道標	新堂4丁目	正面「左 天王寺 大坂道」 右面「右 住吉 さかい」 左面「すく 何べつ神社」 正面「高野山新道」 裏面「享保十三年松原市」	角柱	大坂市住吉区東山から移設 昭和時代
21	中高野街道岡4丁目道標	岡4丁目	正面「右 平野大坂道」	角柱	平成13年(2001年)松原市
22	竹内街道モニュメント	岡5丁目	竹内街道	モニュメント	平成24年(2012年)3月松原市
23	竹内街道「静の里」モニュメント	立野5丁目	竹内街道	モニュメント	平成25年(2013年)3月大坂府・松原市

※各道しるべ(道標)の位置は中国の地図上の番号をご覧ください。

まつばら歴史さんぽ 「道しるべ紀行」散策マップ

松原市域の街道沿いを中心に、市域に広がる道しるべ(道標)を取り上げました。普段何気なく通り過ぎている道しるべに思いを馳せ、まつばらの歴史に触れる散策をしてみませんか。



松原市域を縦横に走っていた街道について紹介します。

■難波大道【なにわだう】
市域西部を南北東方向に伸る良寛時代の道路跡です。道路幅は19mもあり、当時の一般道としてその規模を窺えたものです。

■中高野街道【なかこうやかいどう】
市域の西部を縦断する街道です。浪速や住吉大方向から至って、大阪狭山市で中高野街道と合流して高野山へ向かいます。

■長尾街道【ながおいかいどう】
市域中央部を南北に縦断する街道です。淀川沿いの古口市・交津塚付近から発し、大塚狭山市で中高野街道と合流して高野山へ向かいます。

■古市街道【ふるいちかいどう】
市域東部を斜めに走る街道です。摂津平野東と河内の古市を結ぶ峠峠街道でした。古市で竹内街道と合流します。

■長尾街道【ながおいかいどう】
市域の中央を縦断する街道です。中世から近世において、堺や浪速を中心とした産業の流通や人々の伊勢詣りや熊野詣り、高野詣りなどによって発展した街道です。

■住吉街道【すみよしかいどう】
中高野街道の南側近々と長尾街道の高尾の置付付近を斜めに結ぶL字のな街道で、斜内道の異称でもあります。

■斜内道【しゃうちう】
一部は住吉街道として現在に伝わっていますが、大半は、ほぼ忘却された路となつています。

■竹内街道【たけのうちかいどう】
市域の南部分を東西に横断する街道です。唐土小地方方面から南東斜めに下ったあと東進し、二山山の南の内針を越えて葛城市の長尾神社付近に至る日本古来の街道と呼ばれています。

新しい道しるべあり
マップ上の赤色印記に就いては、経路及び物産の都合上、実際とは多少異議があります。予めご了承ください。

■関連松原六社参り
關連松原六社参りとは、松原市内中と大阪市内1區(天美地区の氏神)をあむむたの神社を、元旦より19日までの期間に参詣する行事です。毎年多くの参拝者が行われています。期間中は松原市を参詣するは六社参拝記念の關連千支張子手紙を渡り合います。詳しくは各神社でお尋ねください。

